

ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>
 携帯電話版 <http://www.city.inagi.tokyo.jp/i/>
 (左のバーコードを読み取り機能付き携帯電話で読み取ってください)

お問い合わせ 環境課
 ごみ・リサイクル係
kankyou@city.inagi.lg.jp

ごみの減量と分別にご協力ください

ごみの発火による車両火災が続いています！
スプレー缶・カセットボンベは有害物へ!!

▶8月6日(金)の車両火災現場



今年に入り、燃えないごみの回収時に収集車が積んだごみの発火による車両火災が2件起きています。分別が不十分だと重大な事故になる恐れがあり、大変危険です。また、収集業務にも支障をきたします。



▲出火車両から見つかったスプレー缶

8月6日(金)の火災では出火車両から5本もスプレー缶が見つかりました。スプレー缶、カセットボンベ、ライターなどは、ガスが残っている・残っていないにかかわらず、有害物として、月1回の有害物の日に出してください。

「生ごみの水切り」と「紙ごみの適正分別」で10%のごみ減量!!

稲城市廃棄物減量等推進員の皆さんによる体験モニターの結果、家庭での「生ごみの水切り」と「紙ごみの適正分別」の実践だけで、およそ10%のごみ減量に効果があることが分かりました。ワンサイズ小さなごみ袋でごみ出しができるよう、家庭でできる身近なところからごみ減量にご協力をお願いします！

すぐにできる生ごみ減量法

- 1. ぬらさない**
 ・野菜は洗う前に皮をむく。
- 2. 乾かす**
 ・お茶がら、ティーバックなどはすぐに捨てず、いらぬ紙の上で乾燥させるなどしてから捨てる。
- 3. 買い物や料理を工夫する**
 ・買いすぎに注意して、計画的にこまめに買い物をする。
 ・食べ物を大切に、食べ残し・使い残しをしない。
 ・野菜の皮もひと工夫でエコクッキングに使う。
- 4. 水切りネットでもうひと絞り**
 ・水切りネットを使うだけでは、まだ生ごみに水分が残っているので、ごみ袋に入れる前にもうひと絞りしてから捨てる。



家庭ごみの内容を調査しています(組成分析)

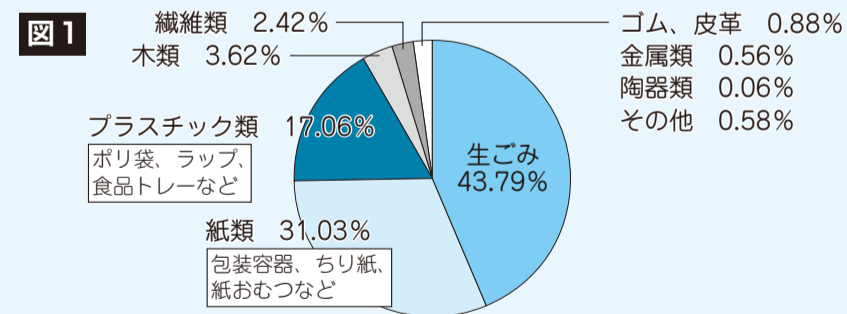
市では家庭からどんなごみが出されているか把握し、これからのごみ減量や分別の計画を立てるため、組成分析というサンプル調査を毎年行っています。

調査結果(1月実施)

燃えるごみ(図1参照)

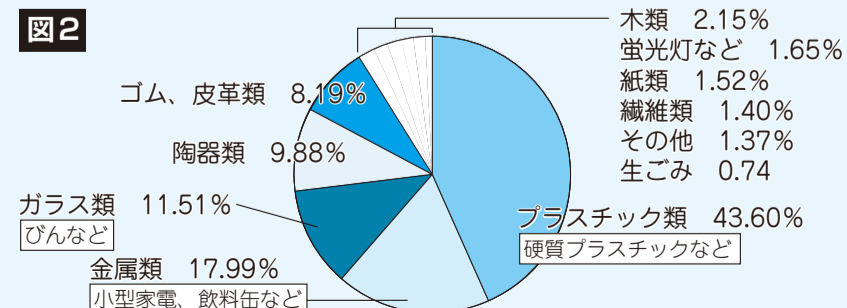
生ごみが約44%と一番多く、次に紙類が約31%となっていました。この紙類の半分は、ダンボール、新聞、雑誌、包装紙、紙パック、ちらし、OA用紙などのリサイクルできる古紙でした。

リサイクルできる紙は分別して古紙の収集日に出してください。



燃えないごみ(図2参照)

プラスチック類が約44%と一番多く、次いで金属類、ガラス類となっていました。



平成21年度ごみ・資源物収集量

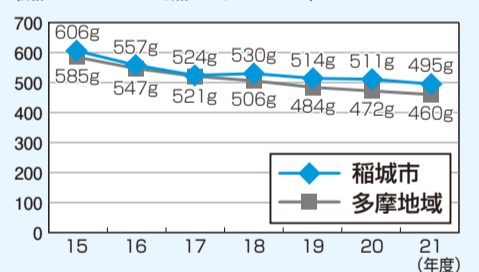
稲城市の1人1日当たりのごみ量(市収集の燃えるごみと燃えないごみ)は495gでした。

多摩地域の1人1日当たりの平均ごみ量は460gでした。有料化による家庭ごみの目標減量化率15%減量(対平成15年度比)を達成していますが、更なるごみ減量にご協力ください。

平成21年度市収集ごみ・資源物年間収集量

分別	年間収集量
燃えるごみ	13,638t
燃えないごみ	1,373t
粗大ごみ	294t
資源物	3,628t
有害物	29t
合計	18,962t

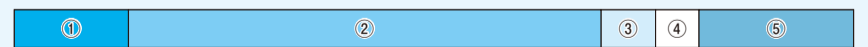
1人1日当たりのごみ量(燃えるごみと燃えないごみ)



平成21年度ごみ処理経費(合計約14億5千万円)

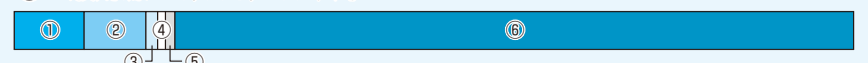
ごみ処理経費の内訳

- ①ごみを集めてクリーンセンター多摩川へ運ぶ費用→197,666千円
- ②クリーンセンター多摩川でごみを燃やしたり、砕いて小さくしたりする費用→819,085千円
- ③クリーンセンター多摩川でごみを燃やして残った灰の一部を日の出町の東京たまエコセメント化施設に運び、エコセメントにする費用→94,645千円
- ④その他経費(指定収集袋作成、販売経費など)→75,405千円
- ⑤資源となる古紙やペットボトルなどをリサイクル施設に運んで、つぶしたりする費用→267,244千円



財源の内訳(収入など)

- ①一般家庭からのごみ処理手数料→120,971千円
- ②許可業者の収集運搬による事業者のごみの手数料→106,984千円
- ③粗大ごみ処理手数料→20,319千円
- ④資源売却収入→13,512千円
- ⑤その他の収入→17,018千円
- ⑥一般財源→1,175,241千円



ご利用ください 資源ごみ集団回収補助金制度

市の資源回収の日とは別に、地域団体が古紙などの資源物を集団回収しています。現在、自治会、子供会、PTAなど58団体が、市へ登録し活動しています。

市では、団体に対し回収量に応じて補助金を交付しています。ぜひ、ご活用ください。

平成21年度の年間回収量は2,027tで、平成20年度と比較して約192t増加しました。

▷対象団体 市内の20世帯以上の地域団体

▷対象品目及び補助額 新聞紙、雑誌、ダンボール、牛乳パック、古布、びん、スチール缶=9円/kg、アルミ缶、食用廃油=6円/kg・ℓ

▷申請方法 資源ごみ集団回収事業実施団体登録申請書を環境課に提出してください。



家庭剪定枝のリサイクルをしています！

市内の各公園などの集積場所で家庭から出た剪定枝を毎月3回程、車搭載型破砕機を使用して細かくチップ化し、希望者に差し上げたり、公園にまいて堆肥にしたりしてリサイクルしています。

今後の作業日、会場などについては、市ホームページ、または広報いなぎ9月1日号をご覧ください。環境課に問い合わせください。

最近、根元から引き抜かれた野菜、農作物、草の持ち込みが目立っています。これらのものは破砕機ではリサイクルできませんので持ち込まないでください。

その他、事業者の方の持ち込み、直径8cmを超える太い木、ごみや小石が混じった袋に入れた剪定枝なども持ち込み対象外となりますので、ご協力をお願いします。



▲破砕車が市内10地区を順次回って作業しています

持ち込めないもの



▲野菜



▲太い木

使用済みの紙はリサイクルしましょう

リサイクルできる紙は新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パックではありません。

皆さん、次のものを燃えるごみとして捨てていませんか？

リサイクルできる紙 = その他紙 (ざつ紙)

ティッシュの箱、菓子箱、トイレトーパーの芯、カレンダー、封筒、包装紙、パンフレットなど → 名刺の大きさまで可能

これらは、貴重な資源です。紙袋などに入れて古紙の日に出してください。



缶・ペットボトルはつぶして資源回収ステーションへ

○缶・ペットボトルはできるだけつぶして出してください。ステーションの回収がごからはみ出ることがなく、また、収集作業の効率が良くなります。

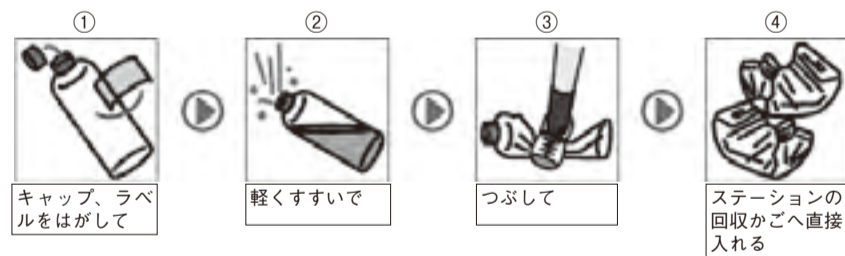
○ポリ袋などに入れず直接回収かごに入れてください。

○たばこの吸殻は入れないでください。

○回収かごにポリ袋、シャンプー、液体洗剤、油が入っていたボトル、蛍光灯、乾電池、ライターなどが入っていることがあります。これらは、手作業で取り除き、ごみとして処分していますが、毎回かなりの作業量となっています。

○シャンプー、液体洗剤、油が入っていたボトルは「燃えるごみの日」に、蛍光灯、乾電池は「有害物の日」に袋に入れて、自宅前、集合住宅は指定のごみ集積所へ出してください。ポリ袋は、回収かごに入りきらない時のみ使用してください。みんなでルールを守りましょう！

ペットボトルの出し方



▲つぶさないで入れると、かごに入りきりません。

おむつ専用袋の支給方法について

おむつを常時使用される方々の負担を軽減するために、利用される方からの申請に基づき、おむつ袋を無料で支給しております。

▷支給方法 各窓口で「おむつ専用袋支給申請書」を記入し、回収ボックスへ投函後、各自おむつ専用袋をお持ち帰りいただきます。

▷対象 4歳未満の乳幼児、障害者、65歳以上の高齢者

▷支給枚数 1回の申請につき、1人3セット(30枚)までです。

▷支給場所 市役所1階総合案内、1階市民課(第2日曜日・第4土曜日の休日窓口開庁日のみ)、2階環境課、平尾・若葉台出張所、子ども家庭支援センター(向陽台小学校敷地内)、保健センター



▲おむつ専用袋

※おむつ専用袋には「紙おむつ」だけを入れ、「燃えるごみの日」に出してください。紙おむつと燃えるごみを一緒に入れますと、収集されません。

※紙おむつが少量であったり、おむつ専用袋がお手元にない場合は「燃えるごみ専用袋」に入れ、それぞれの地区回収日に出してください。

生ごみ処理機「くうたくん」を使ってみませんか？

消化酵素と竹チップを使い、酵素の力で生ごみを分解・消滅させます。1日2、3回程よくかき回してください。

市助成後価格3,000円(価格 6,000円)

▷販売場所 稲城市リサイクルショップ(東長沼3101番地の4)

※通常開館日は水曜日と金曜日です。

▷問い合わせ 稲城市リサイクルショップ ☎ 379-5374

電動生ごみ処理機、コンポスターにも助成金制度があります。

▷助成を受けることができる方 市在住の方

▷助成額 電動生ごみ処理機=上限10,000円、コンポスター=上限3,000円

▷申請方法 購入前に環境課に申請してください。



▲くうたくん

出張します！ごみ減量説明会

ごみ減量やリサイクルについて、職員が説明に伺います。スライドやゲームなどでごみの減量ポイントを紹介します。

ごみの相談や日頃から思っていることなどを一緒に考えましょう。

▷対象 市内、在住、在勤、在学の8人以上の団体やグループ

▷説明時間 20分~1時間程度

▷申込方法 開催希望日2週間前までに電話で申し込んでください。

手軽にできるダンボールコンポストで生ごみの堆肥化実施中！

皆さんに気軽に生ごみ減量に取り組んでいただきたいと、環境課ではダンボールを使い、ピートモス、もみ殻くん炭、竹チップを配合して生ごみの堆肥化を行っています。

ぜひ、ご覧ください。関心のあるあなたもやってみませんか？



▲生ごみ堆肥化中

第36回環境美化市民運動が行われました

7月25日(日)、自治会などの代表者で構成される環境美化市民運動推進本部が中心となって、道路や水路、公園、その他公共の場のごみ拾いや草刈りなどの市内一斉清掃が行われました。「まちの美化はあなたが主役」というテーマのもと、8,515人の市民が参加し、48tのごみが集められました。ご協力ありがとうございました。